

熊本市自転車駐車対策等協議会（議事要旨）

開催日時：平成30年7月3日（火） 14時00分～14時40分

開催場所：熊本市議会棟2階 予算決算委員会室

出席委員：（敬称略、順不同）

柿本竜治、桑原たか子、小林守、浜田浩、矢古島竜太、原育美、
釧羽逸朗、木下智啓、安田二郎、坂井一文、田中満生、長尾浩、
山口鈴子、鍋島幸一

【協議会】

○諮問内容について

○諮問事項 熊本駅周辺の放置禁止区域の変更について

会 長：熊本駅周辺の放置禁止区域の変更案について、質問はないか。

委 員：既存の1200台収容できる4ヶ所の市営駐輪場は、今後完成予定の約1600台収容できる駐輪場と並存して運営するのか。

事務局：既存の市営の駐輪場は再配置に伴い順次なくしていく。ただ、既存の1200台分以上の駐輪台数は、新設予定の駐輪場が完成するまでは常に確保予定である。

委 員：現在、田崎橋電停周辺は放置自転車が多いということだが、収容台数が足りてないのか、収容場所の利便性が悪いということなのか。また、現在の放置自転車は平成32年度完成予定の市営田崎橋電停駐輪場が完成するとなくなると考えているのか。

事務局：現在、放置自転車を収容できる駐輪場は田崎橋電停周辺にはないため整備することで、放置自転車が解消できる。

委 員：今後、再開発に合わせて外国人観光客が多く来ると予想されるが、付近にレンタサイクルの駐輪スペースは確保しているのか。

事務局 : 現在、レンタサイクル用の駐輪スペースは考えていない。しかし、駐輪台数には余裕があると考えているのでレンタサイクル用にあてることも可能である。また、JRでは一部行っていると伺っているが、熊本市では現在レンタサイクルを行っていないので今後どうするか考えていきたい。

委員 : 新設予定の駐輪場の場所は利用者へ配慮しているのか。

事務局 : 現在、場所についてJRと協議中である。高架下に設置し、雨をしのげるようになど考えている。田崎橋については電停周辺、バス停近くなど考えているが、まだはっきり場所は確定していない。

委員 : 森都心プラザの利用者に対して駐輪台数が見合っていないので放置自転車が発生しているのではないかと。また、現在放置自転車が発生している箇所は利用者にとって利用しやすい場所だと思うので駐輪スペースを見直してみてもいいか。

事務局 : 施設内の駐輪スペースに関しては、施設管理者が別なので相談したい。また現在、放置自転車が多く発生している箇所は、放置禁止区域がかかっているか、駐輪場へ誘導するためにも放置禁止区域をかけたか考えている。また、森都心の140台の駐輪場は管理者が別なので、今日の駐輪場計画の2400台と別に考えている。

委員 : 写真を見て思ったが、駐輪場の場所が分からず放置しているのでは。看板などを設置してみてもどうか。また、設置している看板についても分かりやすいようにもう少し大きくしてみてもどうか。

事務局 : 貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。

委員 : 北側駐輪場は白川口側から利用できるのか。

事務局 : 新しく道路が整備されるのでそれを通して利用してもらうことを考えている。

委員 : 動線をよく分析して出入口をきちんと検討してほしい。また、放置自転車は駐輪場が満車だから発生しているのでは。

事務局 : 駐輪場の満車の件については、利用が多い駐輪場、少ない駐輪場を上手に案内していきたい。動線についてもよく分析し、誘導を検討していきたい。

会 長 : 交通量の解析やどの方向から利用者が多く来るかなどを整理して、新しい駐輪場の動線を検討して欲しい。また、駅前広場のレイアウトを変える際に、自転車の動線も考えて案内表示もきれいに設置するとうまく誘導できると思う。

委 員 : 自転車の盗難に対する警備は考えているのか。

事務局 : 駐輪場を整備した後は、駐輪場内に防犯カメラを設置し、24 時間監視する予定である。

会 長 : 本日のとりまとめとして、事務局からの提案どおり熊本駅周辺の放置禁止区域の変更案を妥当とします。

○閉会